

事務事業名	中心市街地活性化推進事業	所属部	産業観光部	所属課	商工振興課
政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	地域産業支援G	課長名	落部 大
施策名	〈37〉商工業の振興	担当者名	金山 佳文	電話番号	0854-40-1052
目的	商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。	(内線)	2390
基本事業	〈110〉地元購買の喚起と活性化	予算科目	0:1350:2	事業名	商工振興総務管理事業
目的	市内事業者	意図	売上を伸ばす。	事業名	中心市街地活性化推進事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
雲南市民 市内商業事業者	市外に流出している購買力の流れを止めるとともに、市外に移住する人口の流れを止め、宿泊客(交流人口)の流出を止めることを目指す。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H27 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	計画している中心市街地活性化は、市外に流出している購買力の流れを止めるとともに、市外に移住する人口の流れを止め、宿泊客(交流人口)の流出を止めることを目指すため、商業振興・定住促進・交流促進に繋がる各種施策を展開する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
中心市街地活性化基本計画に掲げる事業推進のため、雲南市中心市街地活性化協議会に対して支援を行った。また新型コロナウイルス感染症拡大等により、延期された「ホテル整備」については、早期オープンに向けて引き続き働き掛けを行い令和6年度着工の目途がたった。	民間事業の核事業であるホテル誘致について、市・商工会・まちづくり会社が一体となって、誘致活動を進めている。コトリエット運営についても、市・商工会・まちづくり会社が有機的に連携し、事業を推進している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 中心市街地エリア内人口	人	1,940	1,969	1,956	2,000
イ まめなカー市の年間入込客数	人	1,832	2,174	1,042	10,000
ウ 中心市街地エリア内新規出店	事業者	4	1	1	3
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
負担金(協議会) 32,438千円	財源内訳	国庫支出金	千円	4,267		
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	21,000	32,438	33,410
	事業費計	千円	21,000	25,337	32,438	33,410

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	コロナの5類移行もあり、コトリエットのテナントが連携し、親子イベント、周年記念イベントの他、まちづくり協議会によるイベントや商工会によるまめなカー市など積極的に開催することができ、中心市街地活性化基本計画に掲げる賑わいの創出につながった。
② 事業実施するうえでの課題	中心市街地活性化基本計画の認定を受けることで、定住人口の流出・購買力の流出・交流人口の流出の課題を一定程度解決できる手段であり、市の商業振興を推進していく上で重要な事務事業である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	ホテル建設の着工が決定し、円滑に建設が進むよう協力をしていく。また、オープン後の誘客やエリアの活性化に向けて関係人口の拡大について引き続き関係者と取り組んでいく。コトリエットについてはまちづくり会社が自立的・持続的に運営できるようにテナント運営、誘致に対する支援を行う。